

Challenge ~未来へつなぐ~



行橋市教育委員会では、生きる力を育む教育、地域とともにある学校、GIGA スクール構想を掲げ、新たな学びにチャレンジしています。この「challenge」には、「新しい時代にむけ、子どもたちとともに果敢に挑戦する」という思いがこめられています。

◇子どもたちを取り巻く社会状況

今、社会は大きく変化しています。その中で子どもたちを取り巻く環境も日々変化しており、誰も予想できない社会の変化に順応する力を身につける必要があります。未来を担う子どもたちが、変わりゆく社会の中で、自分らしく希望をもって生き抜く力を身につけることができるように、教育のあり方も進化しています。

国が示す新しい学習指導要領

- 主体的** …学習活動を見通し、振り返り、課題を解決していくこと
- 対話的で深い学び** …学び合い、他者と協働することにより、自己の考えを広げ深めること
- …見方・考え方を働かせ、より深く理解し考えを形成すること



社会の変化に適応する「生き抜く力」を「主体的、対話的で深い学び」を通して身につける

国の学習指導要領をふまえて、地域や学校の実態に応じてカリキュラムを編成します。

◇行橋市教育委員会 教育長のメッセージ

授業中にある風景のひとつとして、子どもたちがタブレットを簡単に操作し、それぞれの考えを教員に送り、電子黒板に全員の意見を掲示して、皆で共有する、この風景は今や子どもたちにとって当たり前の日常です。

これからの教育は、不易と流行をハイブリッドしながら、新たな学びへと進化していきます。そして、これからの学校は、学校・家庭・地域が一体となり、「地域とともにある学校」へ転換していきます。

時代や社会の変化に柔軟に対応していくことで、すべての子どもたちの健やかな学びの創造に向けて、未来へつなぐ教育施策の一層の充実を図って参りたいと考えています。



行橋市教育長 長尾 明美

◇公立小・中学校の施設環境の整備と生活の充実を進めています！！



★市内全校体育館に大型送風機を完備

★洋便器整備率 100% 全 17 校整備完了 (令和 2 年 9 月 1 日時点 全国 57.0%)

★冷房設置率 100% 全 17 校整備完了 (令和 2 年 9 月 1 日時点 全国冷房設置率 92.8%)

◇ challenge ~未来へつなぐ~ダイジェスト版

行橋市教育委員会では、行橋市の学校教育に対する理解と関心を深めていただくために、方針や施策、事業について取り上げた広報誌「challenge ~未来へつなぐ~」を発行しています。

現在 Vol.1 ~ 3 まで発行しており、7 月に Vol.4 を発行しました。ここでは、Vol.1 ~ 3 のダイジェスト版を取り上げます。詳しくは、行橋市教育委員会ホームページ(右記 QR コード)より、ご覧いただけます。



令和 2 年 10 月発行 Vol.1 「生きる力 学びの、その先」へ

学校で学んだことが、明日、そして将来につながるように子どもの学びが進化します。

・新しい学習指導要領スタート

小学校：令和 2 年度～

中学校：令和 3 年度～

「教育改革」とも言えます



"ICT を行橋の文化に～学校教育改革のスタートライン～"

★普通教室無線 LAN 整備率 100%

★教育用タブレット 1 人 1 台配布



令和 2 年 10 月当時、タブレット配布率は、県内 1 でした！！

ICT (Information and Communication Technology)

「ICT」とは、おおまかに言うと

「つなげるための道具 (技術)」

ICT 機器「タブレット端末」を使用している様子。生徒はタブレット内で問題に解答し、解答を送信。する



と、黒板に張られた電子画面に生徒の解答が表示され、先生と他生徒が瞬時に確認、共有することができます。

ICT 技術の利用により、授業において、先生と生徒さらには生徒同士の対話が増えています。

行橋市では、平成 28 年度に初めて菟島小学校に学校運営協議会が設置されました。令和 3 年度から新たに今元小学校、今元中学校、仲津小学校、仲津中学校が



加わりました。写真は、4 月 19 日に行われた指定書の交付式の様子です。

令和 3 年 1 月発行 Vol.2 「地域とともにある学校」へ

時代の変化に伴い学校と地域の在り方が変化し、学校と地域の連携・協働が必要とされています。

学校を核として地域活性化をしていきます

"全校をコミュニティスクールに"

★コミュニティスクールとは？ 「学校運営協議会」を設置した学校

★学校運営協議会とは？ 学校運営に地域の声を活かすとともに、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を果たしながら、子どもの成長を見守る組織

令和 3 年 4 月発行 Vol.3 「GIGA スクール構想」って？

これまでの教育実践の蓄積 × ICT = 学習活動の充実・授業改善

「1 人 1 台端末環境」によって可能となること

★教師が授業中でも子どもたち 1 人 1 人の反応を把握できる

→子どもの反応を踏まえた双方向型の一斉授業が可能に

★各人が同時に別々の内容を学習、個人の学習履歴を記録

→1 人 1 人の教育的ニーズや学習状況に応じた個別学習が可能

★お互いの考えをリアルタイムで共有

→各自の考えを即時に共有し、多様な意見にも触れられる

あたらしい社会で活躍できる人材育成のため、プログラミング教育が導入されました。写真はロボットボールの BOLT です。タブレットにインストールしているアプリに動きを入力すると、ボール



が命令通りに動きます。プログラミング学習は、論理的思考力や問題解決能力を育むことができます。